

研究タイトル：音声データ分析による英語プレゼンテーション授業の教育
評価方法に関する研究開発



氏名： 朴 槿英 / Keunyoung Pak E-mail: pak@libe.nara-k.ac.jp

職名： 准教授 学位： 修士, 国際文化

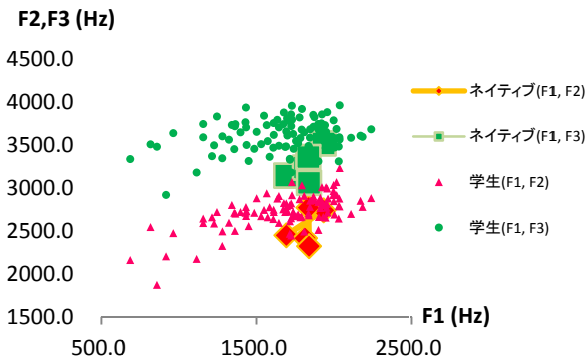
所属学会・協会：

キーワード： 音響音声学, 評価法, プレゼンテーショントレーニング

技術相談
提供可能技術： ・教育, 学習支援業

研究内容：

理工学系学生向けの実践的英語コミュニケーション教授法およびより効果的な評価方法の新たなモデルを提示するため、プレゼンテーションとディベートを両立させた多国籍ワークショップ型アクティブラーニングを実施した。評価分析の客観性向上のため、評価値および音声分布を視覚化することによって、高等教育における ESP 教授法およびその客観的な評価方法を提示することを目的とする。



プレゼンテーション評価方法としては、Contents, Delivery, Visuals, Q&Aの4つの評価基準に分け37項目の細部評価項目を設け、2人のネイティブ、6人の準ネイティブによる評価値を行った。さらに、評価の客観性を高めるため、受講学生全員の英文朗読をSHUREのPGA27 大型ダイアフラムサイドアドレス型コンデンサーマイクロホンとX2uXLR-to-USBを使用して録音し、音声分析ソフトPraatを用いて分析した。各発音におけるスペクトログラムで、低周波数から順に第1から第3フォルマントをプロットし、被験者の特定発音フォルマント分散点在をネイティブ平均値からの遠近度合を中心に測定することで異なる特徴を明らかにした。

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	